

第24回 疼痛医療センター学術セミナー

日時：2017年11月16日（木） 17:30～18:30

会場：大阪大学大学院医学系研究科附属
最先端医療イノベーションセンター棟1F マルチメディアホール

演題：手外科における複合性局所疼痛症候群の発症リスク分析と、
脳機能解析による客観的評価法開発

(Real risk for CRPS in hand surgery and development of objective diagnostic tool
based on brain function analysis)

演者：平田 仁 先生

(名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻運動・形態外科学 手の外科学 教授)

【要旨】

複合性局所疼痛症候群(CRPS)は外傷などを契機に発生し、きっかけとは不釣り合いな高度の疼痛及び感覚障害、循環障害、発汗異常・浮腫、結合組織の異栄養性変化などを特徴とする疼痛症候群である。

現在では国際疼痛学会により Silas Weir Mitchell により最初に記述された神経障害を引き金とする Type II と、その後 Paul Sudeck の報告により存在が確認された Type I に大別され、Type I が全体の8割以上を占めるとされている。

発生部位別にみると上肢が最も多く、手術を契機として発症した症例の大半が手外科領域でのものだったとの指摘もある。我々は名古屋大学医学部附属病院において type I CRPS の発症リスク分析を前向きコホート研究として実施した。

また、type II CRPS に関しても後ろ向きコホート研究によりリスク分析を行った。

これと並行して大阪大学疼痛医療センターの支援も得て厚生労働科学研究費を活用して CRPS 患者の脳機能解析を実施し、客観的な診断・重症度評価技術の開発も試みている。

今回の講演ではこれらの研究成果をお示しし、CRPS の実像と、今後期待される研究の方向をみなさんとともに考えたい。

【お問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科疼痛医学寄附講座

TEL : 06-6879-3745 E-MAIL : secretary@pain.med.osaka-u.ac.jp